

情報モラルと情報セキュリティ

スライド

授業動画

学習指導要領

D(1)ア : 4/14

目標

- ・インターネット上への投稿が自分や他人に与える影響や、投稿によって不利益を被ることがあることを知り、情報社会における責任や義務について考えさせる。
- ・パソコンやスマートフォン等を利用する際に、身の回りにどのような危険があるのかを考え、安全に活用する態度を養う。

評価規準

- 知：インターネットの特性を踏まえ、情報発信するときに注意すべきことやセキュリティの重要性について理解している。【ワークシート】
- 態：自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想している。【振り返りシート】

学習過程

生活や社会を支える情報の技術	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングによる問題の解決	社会の発展と情報の技術
既存の技術の理解	課題の設定 設計・計画 制作・評価	次の問題の解決の視点

準備

□ワークシート「情報セキュリティと情報モラル」 □タブレット等のネットワークに接続できる端末

展開

学習活動

・生徒の活動 ◇教師の働きかけ ■評価方法

1 インターネットについて考える。 ポイント①

◇インターネットのプラス面とマイナス面について、日常生活から想起させる。

2 課題を把握する。

インターネット上への情報発信するときに気を付けることや情報を守るために必要なことを考えよう。

- ・ [情報モラル](#) とは何かを知る。

3 情報の記録性と公開性の重大さについて知る。

- ・ [情報モラル](#) の考え方や態度について理解する。 ポイント③
- ◇事例をもとに、インターネット上への投稿が自分や他人に及ぼす影響について、日常生活からも想起させる。

- ・ 3つの例を基にして、情報の記録性と公開性について考える。

◇「肖像権」「情報の記録性」「情報の公開性」について、事例の何が問題であったのかを考えさせる。
([視聴動画「情報の記録性」](#))



4 情報を安全に利用するために使われている技術について知る。

- ・ 端末やスマートフォンのセキュリティについて考える。

ポイント②

◇事例をもとに、「被害」と「問題行動」についてまとめ、必要な対策について考えさせる。

5 振り返り

◇情報モラルと情報セキュリティについてどの程度理解できたか確認する。

- 振り返り（態）

ポイント①

日常生活の中で、インターネットを活用した経験のある生徒は多いことが想定されます。特にSNS等を通じて、トラブルに発展するケースも少なくありません。この学習では、日常生活と結び付けながら、情報の記録性と公開性について考えさせるようにしましょう。

ポイント②

情報セキュリティにおいては、端末やスマートフォンのセキュリティ対策が不十分であることも少なくありません。特に保護者が設定している場合などには、その重要性について改めて確認する必要があります。普段からの自己防衛の重要性についても取り上げましょう。

ポイント③

この学習では、「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」のうち、技術分野に係る内容を視聴する構成となっています。この動画教材は5つの課題について動画教材が複数用意されているため、自校の情報モラルに関する指導の状況に応じて、実態に合った動画をさらに視聴することも考えられます。